



「YMCAって何？」に答えるために ブランディングを進めます。



大阪YMCA
総主事
すえおか よしひろ
末岡 祥弘

「ムーブメント」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？それは社会課題に対して人の心から心へ、良き思いと行動を広げ伝えていくことです。

YMCAは1844年にロンドンで20代の青年達が、劣悪な社会状況の中で暮らす周りの若者に良き思いを伝えようと起こし、世界に広がったムーブメントです。

では、「YMCAムーブメント」は今の社会に必要とされているのでしょうか？

全世界のそして全国のYMCAに関わっている人たちの答えはYESです。

様々なプログラム(学校やキャンプや保育園など)を通じてそのムーブメントに関わった人々は「多様な人との豊かな交わりの中で人生の素晴らしさを感じ、自らがよく変えられる体験をしてきた」と言われます。「今の社会状況だからこそ、この経験を何とか数多くの青少年に伝えていきたい。知ってもらいたい。体験してもらいたい。」YMCAに関わる多くの方がそう願っています。

しかし、今のYMCAが置かれている状況を見てみるとその願いは叶っていません。全国規模で考えると、YMCAに関わる人の数は増えてはいないのです。

A:「YMCAに行くのが面白いし、皆が僕のこと認めてくれるので、なんかやる気が出てくるんだよね。本当に他にないユニークなところだよ。」

B:「いつもきみはYMCAのこと話すときは熱いなー。」

A:「きみも一緒にYMCAにおいでよ!」

B:「でもYMCAって何をしている団体なの？よくわからないし、なんか行きにくいな。この頃はあんまり名前も聞かないし…周りのみんなもそう言っているよ。」

A君は少しがっかりします。

「こんなに自分に自信を持たせてくれた良い所なのに、なんで分かってもらえないんだ!？」

YMCAは外から見てどう思われているのか？

今回のブランディングを進めるにあたって、かつてない大規模な内外調査を全国で行いました。そして、そこで見えてきたものがあります。YMCAは社会の人々にとっては「何をしているかわからない」、「あまりよくわからない団体」だという結果です。

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

その現実に少し自信を無くしかけますが、調査の中には私たちの行っていることそのものへの高い評価と信頼感がありました。「良いことをやっている団体だ」という基本的な信頼感が高い反面、「でも何か内向きで、中に入りにくい、よくわからない」という壁がそこにはありました。

そこで、今回のブランディング活動では、まず、「YMCAは何を目指しているのか？その基本的な考え方が良くわからない」の言葉にこたえるために、全国のYMCAに関わる数多くの人が幾度となく話し合い、「YMCAが何を提供し、何を目標とする、どんな性格の団体か」を分かりやすい言葉で言い表しました。それは、

私たち日本のYMCAは
**「したい何かが見つかり、誰かとつながる。
 私がよくなる、かけがえのない場所。」**を提供し、
**「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』
 のある豊かな社会を創る。」**ことを目標とする、
**「心をひらき、わかち合う。前向きで、
 まわりを惹きつける魅力を持つ。」**ブランドです。

これをブランドコンセプト(基本的な考え方)といいます。

そして、ブランディング活動では、このブランドコンセプトを社会の人々に伝えるための具体的な行動を次々と起こしていきます。それは、「壁をなくし、もっともっと社会の人に分かってもらう行動」です。

YMCAをより分かりやすく伝えるための変革は「ブランドスローガンやマークなどの策定、外に見せる広報の仕方の変革、そしてなによりもプログラムの中身・服装・ふるまい、分かりやすく伝えるための言葉の使い方、想いが伝わる会館や施設のありよう」等に具体的に表していきます。

これらのことを通して情報に溢れる社会に生きる人々に「YMCAのもっている価値―宝」を光らせ、伝えていきたいと願います。

170年以上、世界中で続いてきたYMCA、その活動に関わった人たちの想いを今の社会の人々に向かって伝える努力をする。これがこれから日本のYMCA活動に関わる人たちですすめていく「ブランディング活動」です。

未だこの「価値」に触れていない方々に分かりやすく伝えていく新たなムーブメントにしたいと願っています。

より良い社会に向かい、皆さんとともにこのチャレンジを進めてまいりたいと思います。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

YMCAブランドコンセプト発表

6月18日・19日、YMCA東山荘(静岡県御殿場市)で開かれた第5回日本YMCA同盟協議会において、YMCAブランディングの土台となる「ブランドコンセプト」が発表されました。全国規模での様々な調査によって明らかとなった日本YMCAのブランド課題を踏まえ、同盟ブランディング広報戦略タスクチームが中心となり、多くの議論を経て、ブランディングコンサルティングパートナーであるグラム株式会社によってまとめられました。ここに概要をお伝えするとともに、協議会に出席した4人のスタッフ/ボランティアの方に「ブランドコンセプト」をどのように私たち大阪YMCAのものにしていくのか、それぞれの立場で期待を語っていただきました。

ブランドコンセプト

私たち日本のYMCAは、

■ブランドバリュー

したい何かがみつかり、誰かとつながる。私がよく、かけがえのない場所。を提供し、

■ブランドビジョン

互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。ことを目標とする、

■ブランドパーソナリティ

心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。ブランドです。

*ブランドバリュー：YMCAがステークホルダーに対して提供を約束する価値
*ブランドビジョン：YMCAが実現したい世の中の姿
*ブランドパーソナリティ：ブランドとして備えているべき個性、らしさ。

日本YMCA同盟 ブランディング広報戦略タスクチーム コーディネーター 小川 健一郎



ブランディングとは、とことん顧客視点に立ち、私たちのビジョンや提供価値をわかりやすく表現すること。また、仕事の仕方そのものも顧客視点に立って改善することです。社会の多くの人にYMCAを知ってもらおうことがその狙いでありました。

しかし、ブランディングは魔法の杖ではありません。YMCAの使命に導かれた事業を拡大するためには、

ブランディングに取り組むことと同時に、事業の強化が必要です。人材育成、財務体質の改善、マネジメント力の強化等を同時に行うことが重要です。

今回発表された「YMCAブランドコンセプト」は、顧客視点で考え抜き、プロフェッショナルの力で形になったブランディングの土台です。この土台には、YMCAと社会の約束が記されており、スタッフ、ボランティアリーダー、レイパーソンの一人ひとりが日々の活動のあらゆるコミュニケーションの中、例えば、受付窓口や電話対応、ウェブサイトやSNSやメールなどにおいて、この約束を守り続けていくことで少しずつYMCAへの信頼が高まり、YMCAがブランドに成長していきます。

「YMCAブランドコンセプト」に記された約束は、1万人を超える内部調査、4千人を超える生活者アンケート、企業インタビュー等をもとにつくりました。みなさんと一緒に作り上げたのがこの「YMCAブランドコンセプト」です。

2017年6月には、ブランドスローガン、マーク等の開発が進み、具体的にどのような社会にYMCAを表現していくかが決まります。YMCAの使命の実現が広がるように、共に努力してまいりましょう。

大阪YMCA国際専門学校国際学科 学科長 日本YMCA同盟 ブランディング広報戦略タスクチーム 小林 直樹

今回のブランディングにタスクメンバーとして携わることができ、貴重な経験をさせていただいています。この度のブランドコンセプト発表でいよいよ具体的な取り組みが始まるのだという実感が湧いています。ただ、多くの皆さんはイメージ調査をされただけで、まだピンと来ておられないかもしれません。私自身、昨年からいくつかのブランディングに関する会議やワークショップに参加する中で、最初は実感がなかった参加者の皆さんが、終了後にブランディングについてのイメージを深めることができ、積極的に取り組もうという意志を持ってくださった様子を目の当たりにしてきました。これからは一人でも多くの方が少しでも早くワークショップや説明会に参加し、理解を深めてもらえるようにすることが成功へのポイントだと思っています。YMCAが持っている可能性を、ブランディングを通して可視化していきたいと思えます。



ウェルネス事業部 徳島事業グループ長 YMCA阿南国際海洋センター事業長 菅田 育

YMCAの取り組みの多くは、北米YMCAなどを参考に英語やその日本語訳などを用いてきました。それに対し、今回明らかになったブランドコンセプトは、こ



れからのYMCAが歩む道のりの土台となるべく、非常に分かりやすい言葉で構成され、その中にある新しい「キーワード」に私たち日本のYMCAのあるべき姿が示されているように感じます。

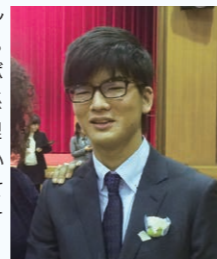
例えば、組織キャンプについて言えば、YMCAが始め、今では社会で広く展開されるものになりました。間もなくキャンプ100周年を迎える私たちは、今一度「なぜ、YMCAはキャンプをするのか」を考えなければいけません。「YMCAキャンプは平和を創る人を育む」私はそう願ひ、そう信じてYMCAキャンプ事業を担っています。YMCAブランドコンセプトは、まさにその願いを具現化するために、私たちが新たに手にしたYMCAの強みです。

YMCAの内側にある多様性と、外側へ発信する情報の明確化のバランスをどうとるのか、社会へ向けたYMCAの発信力を強めるためにも、内在する多様性の魅力を磨き続ける必要があり、そこに私たちの次の取り組みがあると感じています。

大阪YMCA UNI-Y 世界YMCA同盟 チェンジエージェント 山内 沢真

私は現在大学生ボランティアとして大阪YMCAで活動していますが、YMCAを知らない周りの学生に向けてYMCAを紹介することにずっと難しさを感じていました。「YMCAって何?」というシンプルな問いに対して、上手く説明する言葉を見つけれないのです。

そんな中発表された今回のブランドコンセプトは、YMCAが全国で展開する多様な事業・活動の根底に共有される「YMCAの礎石」を明確に言語化したものでした。これまでは個人が思い思いに描いてきたYMCAの価値や目的、特長を、包括的かつわかりやすく明示し、全国レベルで浸透させます。ブランドコンセプトという仰々しい名前を付けられたこの概念ですが、採用されている単語はどれも親しみやすく、私が個人的にYMCAに対して抱くイメージと符合しているように感じられました。今後は、YMCAに様々な形で携わっている全国のボランティア、スタッフ、主事に至る全てのYMCA関係者が、このブランドコンセプトを自身のものとして理解、内在化した上で日々の活動・事業に取り組んでいく必要があるでしょう。そうすれば、「YMCAって何?」という問いかけに対し、より大きな範囲で答えられるようになるのではないのでしょうか。



中日本地区YMCAブランディング研修会

「ブランドコンセプト」について、深く正確にご理解いただくための研修会が用意されています。

【日時】2016年8月6日(土)13:00~16:00
【場所】大阪YMCA会館(土佐堀)
【対象】YMCAで中核を担うスタッフ、レイパーソンの方
【内容】・大規模調査結果報告(グラム公社)
・YMCAブランドコンセプト発表とわかち合い(同盟タスクチーム)
・YMCAブランディングの今後について

【お問い合わせ】大阪YMCA本部事務局(担当:船戸)
【TEL】06-6441-0894 【E-mail】funato-teruhisa@osakaymca.org

ワイズの森・うなぎの森植樹運動



雨模様の合間、奇跡的に晴天に恵まれ、5月8日「ワイズの森・うなぎの森」植樹運動が高槻市神峯山寺の山中で盛大に開催され、ワイズメンズクラブの方々約90名、土佐堀YMCAわんぱくクラブ(小学1~2年生)約20名と一緒に参加しました。子どもたちも一所懸命に穴掘りしたり、肥料や水まきをしたり、飛び出してきたトカゲにびっくりしたり。

植樹後、宮城県気仙沼市で「森は海の恋人」という名の植樹運動を28年前から行っている畠山重篤さんから、「どうして『うなぎの森』と言われているか知っていますか?」「今日の植樹は君たちに素晴らしい未来を贈ろうという活動なんだよ。」と、森と川と海の関係についてのお話しをしていただき、子どもたちも真剣に聞いていました。森が育つことにより淀川水系の水質改善が進み、天然うなぎが多く育つように活動を続けていきます。

大阪YMCA 創立134年記念礼拝・活動報告会

なかむら しげたか
Yボランティア 中村 茂高

6月4日、創立134年の記念礼拝が180名の参加をもって開催されました。日本基督教団大阪教会の岡村恒牧師が「確かに未来はある」と題し年間聖句である箴言第23章を取り上げ、さまざまな困難にある社会の中で、「私たちに未来はあると信じ、決して希望は絶たれることはない」と力強い説教で私たちに励ましました。

礼拝後の活動報告では、末岡祥弘総主事から全体報告が、小川健一郎スタッフから「なぜブランディングに取り組むのか」と題し、YMCAの価値を社会にわかりやすく説明する必要性が説かれました。また被災地の熊本に現地入りしている箕浦史郎スタッフとネット中継でつなぎ、被災地の厳しい現状を知ることができました。こども園ダイアーズクラブから、お父さんたちによる幼稚園の砂場の改修といったユニークな報告など、多様なYボランティアの報告を受け、私たちの活動の広がり、支援の輪を実感することができました。



第4回 東アジアYMCAアーバンネットワーク会議



5月12日~14日、韓国、香港、台湾、中国、シンガポール、日本、そしてオーストラリアから11のYMCAが台湾の台中YMCAに集い、第4回東アジアYMCAアーバンネットワーク(EAYUN)会議が開催されました。会議参加メンバーと台中市民の方を対象にした白澤政和教授(桜美林大学大学院)による「地域包括ケアシステム」をテーマにした国際シンポジウムをはじめ、高齢社会対策やユース育成などグローバルな共通の課題についての情報共有や協議の場が持たれました。その中で、国や制度の枠組みを超え、相互に協力して対処していくためのネットワーク作りが再確認されました。

※EAYUN:アジア太平洋地域における社会運動を強化推進することを目的に設置された組織。

また会期中には、大阪YMCAによって開発された「高齢者のための介護予防プログラム」を台中市で普及促進させるため、台中YMCAおよび台中市と協定書を取り交わしました。

EAYUNの会期中、台中YMCAのボランティアやスタッフの方々によって熊本地震の被災者支援のための街頭募金が実施され、林佳龍台中市長からもEAYUN会議の席にて被災地の皆さんへのメッセージ



を託されました。また会議の中でも、参加YMCAによって熊本の被災者の方々のために祈りの時をもち、募金もいただきました。台中の皆様と参加YMCAの皆様による温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

熊本地震支援へのご寄付の報告と感謝

大阪YMCAの賛助会社である株式会社テツタニ様から、熊本地震の復興支援のために1,000,000円のご寄付をいただきました。

この他にも、大阪センテニアルワイズメンズクラブや大阪YMCA国際専門学校国際学科(IHS)PTAをはじめ、創立記念礼拝での席上献金など多くの方々にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

頂戴しましたご寄付は、熊本地震支援活動(避難所運営、現地コーディネーター派遣、被災YMCAの再建・運営など)に用いさせていただきます。

引き続き熊本地震支援募金へのご寄付をよろしくお願いたします。

お近くのYMCA または 三菱東京UFJ銀行 大阪為替集中支店 普通預金 No.0230070

(名義)公益財団法人 大阪YMCA カナ:ザイ)オオサカワイエムシーエー ※通信欄に「熊本地震」と明記ください。



つながり広がる“Yの世界”

野外・キャンプ活動を通しての繋がり

野外・キャンプ事業部 スタッフ おおさと よしえ 大里 由恵

野外・キャンプ活動では、人との繋がりを感じる場面がたくさんあります。活動では、子どもたちと一緒に自然の中で遊び、考え、挑戦します。そこには必ず、仲間やリーダーの存在があり、一人ではありません。仲間がいたり、リーダーと一緒にいるだけで、不安な気持ちが小さくなり、普段できないこともできるようになる不思議な力が野外・キャンプ活動にはあります。私自身もそのような体験をしてきました。

先日、六甲山YMCAにて関西圏のYMCAの野外担当スタッフが集い、キャンプディレクター研修会が実施されました。同じ志を持つ仲間や先輩方、大学の先生方の参加があり、今までの野外活動の長い歴史やその価値、また環境教育など多くのことを学びました。何よりも、たくさんのお出会いと繋がりを持つ場になりました。

2020年には大阪YMCAが六甲の南郷山で初めて行った組織キャンプから、100周年を迎えます。その100年の歴史の繋がり、大切な人との繋がり、心の繋がりなど、繋がりの中に光り輝くYMCAの価値と願いを伝えることのできるスタッフとして、日々成長し、たくさんの方々と共に歩みを進めていきたいと思えます。



キャンプディレクター研修会にて

第22回

大阪YMCAチャリティーラン
開催のお知らせ

日時 2016年9月22日(祝・木)
9:00~13:00

場所 花博記念公園鶴見緑地 特設コース

申込締切日 2016年8月31日(水)

大阪YMCA チャリティーラン2016 [検索](#)

お問い合わせ -----
大阪YMCAチャリティーラン事務局
TEL : 06-6441-0894 FAX : 06-6445-0297

大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第280回 日時…2016年8月19日(金)7:30~8:30

証し…かいようこ 貝 容子さん
(大阪YMCA本部事務局 スタッフ)

場所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ 大阪YMCA 本部事務局 総務
【TEL】06-6441-0894 【E-mail】info@osakaymca.org

大阪YMCA「安全の日」について

大阪YMCAでは、屋外での活動の機会が多くなる本格的な夏を迎えるにあたり、毎年7月18日を、大阪YMCA「安全の日」と定め、「生命」の大切さと自分自身の「安全」と他者の「安全」を考える機会として、「安全キャンペーン」を実施しています。

私たちは、日常生活の中で多くの危険なことに直面しながら、知らず知らずのうちに見過ごしたり、気づかなかつたりすることがあります。自分自身は気をつけていても、思わぬ災害、災害の当事者になることもあり、単に軽い怪我だけでなく、尊い生命までも失ってしまうことさえあります。

たった一つしかない自分の「生命」を自分自身で守っていくために、そしてYMCAが大切にしている価値(思いやり、誠実さ、尊敬心、責任感)にも関連し、自分自身と他者の「安全」を考えていくために、この「安全の日」を機会にもう一度、身の回りの安全について、ご家族やお友達と一緒に考えてみてください。

これから暑い夏を迎えますが、身体に気をつけ、健康で有意義な夏を過ごされますようお祈りいたします。

ユースリーダー安全支援金ご協力をお願い

大阪YMCAでは、YMCA運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修など用に用いられる募金を実施しています。みなさまのご協力をお願いいたします。

- 【募金方法】 一口 1,000円
- 【募金期間】 7月1日(金)~8月31日(水)
- 【受付窓口】 各YMCA、
大阪YMCA本部事務局
(06-6441-0894)

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2016年5月度報告・敬称略

【新規会員】

板倉 史明
大西 和希
川本 菜那
喜多内 葵
笹部 航一
福水 俊洸
松村 夏那子
吉田 朱莉
惠美奈 博光
大塚 千明
大村 肇
大藪 芳教
岡本 真美
梶 真子
加藤 明宏
川口 和子
河本 武久
川本 博信
桐原 拓
國友 朝子
栗田 瞳
小濱 知子
齋藤 中哉
坂田 茂
坂田 楓花
重信 直人
ト田 昭子
ト田 啓三
杉原 知恵
鈴木 えみ
江見 淑子

高橋 淳子
高橋 優太
田中 惟介
谷川 美世波
塚本 二未
津田 誠
富賀 理恵
長尾 文雄
中村 隆幸
中本 和子
西村 和雄
野村 卓史
芳賀 義昭
長谷川 幸子
濱谷 風香
日野 多栄子
廣島 義夫
福島 文子
福山 正和
藤井 道雄
藤田 貴大
富士水 英一
藤好 基子

船越 将吾
前田 彩実
前田 孝志
梶田 ひかり
松尾 博之
松川 晟可
丸尾 欽造
水野 善夫
水口 美里
森井 隆生
森田 照美
森本 けい
柳谷 利起
山上 実海
山下 葉奈
山田 弥栄子
吉岡 香代子
渡辺 宏子

【継続賛助会員】

株式会社シェル石油
大阪発売所
株式会社西島製作所